

科目名：教職概論 (必修2単位)		担当教員名：武内 裕明 担当形態：単独	使用テキスト：出版社名・テキスト名 萌文書林：保育の実践—愛し、任せ、信じ、見守る
科目	教育の基礎的理解に関する科目	施行規則に定める科目区分 又は事項等	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)
授業の到達目標及びテーマ： 教育の動向を踏まえ、学校教育や教職の社会的意義と教員の役割を理解する 保育者の職務内容や責任を知り、専門職として成長していくための学びの基盤を築く			
授業の概要： 教職としての保育者の意義や役割を知るとともに、教職を自覚的に選択し、自ら成長していける基盤になる情報を提供するとともに、学校教育や保育者の社会的意義を理解し、教職に就くために自ら考え、改善していける基盤を築く。			
回	項 目	内 容	
1	オリエンテーション・教職の意義と特徴	冒頭で講義の概要を説明する。他の職業との比較を通して教職の特徴を考えるなかで、公教育の役割やその担い手としての教職の社会的意義について学ぶ	
2	保育者の職務と専門性	保育者の職務内容の全体像や服務上・身分上の義務及び身分保障を知り、専門性向上における研修の位置づけや重要性を理解する	
3	教育観の変遷と教員の役割	保育を中心として、これまでの教育観に関する変遷を踏まえ、教員に求められる役割を広く理解する	
4	愛情の重要性	保育において子どもとの良好な関係の基盤であり発達の礎である保育者の愛情について、事例を踏まえて検討する	
5	保育者としてかかわる技術	保育者として子どもに教育を行う際にどのようなかかわりが必要か、様々なアプローチについて事例を踏まえて検討する	
6	子どもを見る目	保育者として子どもとかかわるうえで重要な子ども観について、どのような子どもをとらえ方が必要か、事例を踏まえて検討する	
7	子どもとのかかわり	保育者として子どもとかかわるうえでどのようなアプローチが必要なのか、事例を踏まえて検討する	
8	生活を通じた指導	生活の中で子どもが学んでいける環境をどのように準備していくか、事例を踏まえて検討する	
9	子どもの成長を支える	子どもの成長を支えるうえでどのように個々の子どもを支え、経験的に学ぶように導くか、事例を踏まえて検討する	
10	個に応じた対応	個々の子どもの現状に応じて公正にすべての子どもとかかわるための考え方について、事例を踏まえて検討する	
11	公正な集団作り	個々の違いを織り込んだ公平な集団をどのようにつくっていくことができるかについて、事例を踏まえて検討する	
12	健康と安全	子どもの健康や安全をどのように保育者として守るのかに関して、事例を踏まえて検討する	
13	子育て支援	保育者として子育てをどのように支えるかについて、保育実践を核とし、事例を踏まえて検討するとともに、子育て支援の重要性を理解する	
14	真剣な対峙の必要性	保育者として難しい場面で実践的に子どもと対峙するにあたってどのような対応ができるかについて、事例を踏まえて検討する	
15	チーム学校運営への対応	保育施設内の職員と連携し、チームとして組織的に諸課題に対応する重要性を学び、専門職として他の専門性をもつ人材と協力する意義を理解する	
	期末試験		
参考書・参考資料等： 文部科学省『幼稚園教育要領解説』2018、基礎学力研究開発センター『日本の教育と基礎学力』明石書店、2006、垣内国光他編著『保育に生きる人びと』ミネルヴァ書房、2011 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）			
学生に対する評価方法： テスト（40%）、平常評価（60%）によって総合的に評価する。			